



カレンダーで届ける地域の笑顔

東日本大震災の被災者・支援者のみなさんの笑顔や、復興の様子をカレンダーにして全国へ届けるプロジェクト「笑顔カレンダー東北」。七ヶ浜町出身で震災当時大学3年生だった吉川一利さんは、震災後に人口約2万人の町に延べ8万人の支援者・ボランティアが来た事実と驚くとともに、七ヶ浜の復興の様子を知ってもらいたいと思い立ち、2012年からこの取り組みをはじめました。これまで撮影した人数は約7,000人。毎年リピーターで協力していただく方も増えてきました。

現在は、全国及び海外各地にいる吉川さんの仲間たちが、それぞれの土地で撮影した笑顔も掲載されています。また、売上金の一部は、近年後を絶たない自然災害の各被災地に支援金として届けられています。

今後は、多賀城でも撮影会やトークイベントを企画し、笑顔カレンダーを知ってもらいたい、と吉川さんは話しています。



笑顔カレンダー2020東北



みんなの笑顔を集める吉川さん(手前右側)
2017年11月 埼玉県志木市にて撮影

“笑顔カレンダー2020東北”
JACK IN SMILEのウェブサイトより
購入できます!

笑顔カレンダー 検索



ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

2019年11月2日(土)掲載 /

仕事の優先順位を考える
重要度/緊急度マトリクス

2019年11月14日(木)掲載 /

はるかシベリアから

2019年11月18日(月)掲載 /

団体相談で多かった
チランパンの作り方
伝授します!

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味があれば「たがさぼPress」へ!
<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!
また、以下のような情報もお待ちしています!

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

TAGAJO Future Labo 5th season

マイアプローチ発表会 参加者募集

「地域で何かに取り組みたい!」「特技を地域で活かしたい!」これまで5回にわたって、想いを深めるワークショップや地域づくりの先輩からの学びに取り組み、受講生それぞれの想いをかたちにしてきました。今回は受講生からの発表と、ゲストトークを行います。ゲストは、「新田mama*café」「NPOママとシネマ実行委員会」の眞野美加さん。地域づくりに関心のある方、何かはじめていたいと考えている方、ぜひご参加ください。一歩踏み出すヒントや、新たなつながりが見つかるでしょう。

日時 2020年1月19日(日)午後1時~午後4時
会場 多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室
費用 無料
定員 30名(先着順/要事前申込)
申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

「かけがえのないあなた」を大事に

子育て支援や発達障がいのある子どもの支援などに携わる方たちが集まったPrecious One。メンバーのノウハウを活かして虐待予防に取り組んでいます。今回は代表の小笠原ルミさんにお話をうかがいました。

みんながお互いを大事に想えるといいね!



1 1 どんな思いから活動をはじめましたか?

私自身の子育てや保育士としての経験の中で「子どもや親が傷つくのはどうしてだろう」と考えていました。ニュースで虐待の事件が報道されると「何で虐待なんてしてしまったのだろう」とよく言われますが、芽は私も含めて誰にでもあります。苦しいという声をあげられず、いっぱいいっぱいになってしまった結果なのだと思います。

仙台にも子育て支援活動、DVや虐待を受けている方への支援活動があります。私はそんな活動がいろんな場所にあればいいなと思いました。金銭的に苦しい方が交通費をかけずに行ける、知り合いに会う心配がない、「この人だったら相談できる」という人がいる、それぞれの人たちが安心して頼れるようなたくさんの選択肢があるといいなと思い、その一つとしてPrecious Oneを立ち上げました。



代表の小笠原さん。



講座の様子。内容に応じた専門家を招きます。

2 2 どんな活動をされていますか?

親向けの子どもの関わり方講座では、子どもが寝ない、食べないといった時にどんなメッセージを読み取れるかなどをお伝えします。参加したお母さんからは「私は間違っていないんだと自信が持てた」と安心の声があがりました。

支援者向け講座では、子どもの様子から虐待などの可能性を考えるといった内容の他、たとえば生活が大変な状況にあり、子どもの面倒をみることができず、それが虐待につながってしまう場合もあり、一概に親を責めることはできないということも伝えます。

「子育てでまわりの協力が得られない」「赤ちゃんをかわいと思えない」といった方から相談も寄せられます。その時は、お話を聴いたり、気分転換をしてもらったりしています。後日、「夫と話し合う機会を持ってみた」「赤ちゃんに愛情を抱けるようになった」という連絡をいただきました。

3 3 今後、活動をどのように進めていきたいですか?

誰もが大事にされ、自分の言葉に耳を傾けてもらえ、責められない生き方をしていけたらよいと思います。それは子どもだけでなく、親や支援者にも必要です。保育士の方自身が大事にされれば、親へ優しい言葉をかけてあげられるし、そうすると親も子どもと優しく関わるができるのではないのでしょうか。子どもを幸せにするために、子どもに携わる人も心地よくなれるような、そんな環境をつくっていきたいです。そのために、まずは私にできることとして、DVや虐待に焦点をあてながら、講座などを通して生きづらさを感じている人を応援する場を広げていきたいと思っています。

団体については
ブログやFacebookを見てみてね～



Precious One

TEL 090-4886-9816
E-mail preciousone20190501@gmail.com
blog <https://blog.canpan.info/preciousone/>
Facebook @PreciousOne0501

What's? //



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



@tagasapo
たがさぼのツイッターへの
フォローお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>
たがさぼのホームページは
こちらへアクセス!